

2-2 宮殿・官衙向けの造瓦

土工司

令制における職掌と位置づけ 『令集解』職員令

造宮省

造宮省の変遷 別紙参照

大糧申請文書

天平 17 年 (745) 4 月 21 日「造宮省移」(続々修 23-5、『大日古』24-293 ~ 295)

天平 17 年 (745) 10 月 21 日「造宮省移」(続修 15、『大日古』2-473 ~ 474)

平城宮への瓦の進上

平城宮跡出土木簡・二条大路木簡

木工寮

造宮省工人の配置転換

『続日本紀』延暦元年 (782) 4 月癸亥条

土工司の併合

承和年間の体制整備

『類聚三代格』4、承和元年 (834) 正月 29 日太政官符

『続日本後紀』承和 2 年 (835) 9 月癸卯朔条

『延喜式』にみえる造瓦

作業工程、小野・栗栖野瓦屋の存在

2-3 寺院向けの造瓦

弘福寺の瓦山

弘福寺 (川原寺) の歴史

天智天皇初年、故齊明天皇の飛鳥川原寺の地に造営。

弘福寺の所領と瓦山

天平 20 年 (748) 6 月 17 日弘福寺三綱牒 (東寺文書、『大日古』3-41 ~ 48)

造東大寺司における造瓦

造東大寺司告朔解における造瓦所

天平宝字 6 年 (762) 3 月 1 日造東大寺司告朔解 (続々修 38-9、大日古 5-125 ~ 131)

天平宝字 6 年 4 月 1 日造東大寺司告朔解 (続修 35、大日古 5-188 ~ 195)

天平宝字 7 年正月 3 日造東大寺司告朔解 (続修別集 33、大日古 5-375 ~ 383)

糧米申請文書

天平宝字 3 年 6 月 29 日「造東大寺司造瓦所解」(続修 28、『大日古』4-372 ~ 373)

東大寺山堺四至図における瓦屋

興福寺・四天王寺・梶原寺における造瓦と東大寺

天平勝宝 8 歳 (756) 8 月 14 日「造東大寺司牒」(正集 7、『大日古』4-180)

天平勝宝 9 歳 3 月 16 日「摂津職解」(正集 4、『大日古』4-224 ~ 225)

『類聚国史』182、延暦 11 年 (792) 4 月丙戌条

法華寺における造瓦

年欠「造金堂所解案」(続修 36、『大日古』16-279 ~ 307)